四五回生學年通信号外 修学旅行

北海道・1日目

兵庫県立伊川谷高等学校 45回生
発行所　〒651-2104
神戸市西区伊川谷町長坂 910-5
県立伊川谷高校 印刷室
電話 代表 078-974-5630
FAX 078-974-5631
https://www2.hyogo-c.ed.jp/weblog2/ikawadani-hs/

紙面から

5 4 3 2 1

いよいよ修学旅行出発だ
お見送りありがとう！
集合写真＆開校式
伊川谷45回生スキー実習
スゲーゼルスツホテル！

お見送りありがとう～！

平日の出発だったにも関わらず、たくさんの先生方が交通整理やお見送りのために集合場所（湊川神社）に駆けつけて下さいました。ありがたい事です。みんな無事に帰ってきますので、よろしくお願い致します。それでは

行ってきま～すっ！

見送りの先生と生徒達です

バス内で活気づき？

伊丹でチケット配布中

いよいよ修学旅行出発だ！

旅行の始まり

令和4年1月13日（木）の早朝、若者達が続々と湊川神社に集います。**一体この地で何が？**

そうです、伊川谷高校45回生の修学旅行がこの地で始まるのです。その記念すべき瞬間に私たちは立ち会う事ができました。それではお決まりの、「ハイ、チーズ！」**パシャリ**

朝6時13分、さぁ、遂にバスの出発です。

いよいよフライトだ

例年は2便に分かれてのフライトですが、そこは45回生、強運の持ち主が居るのか、5クラス1便でのフライトとなりました。乗るのはANA771便です。

「何で金属の塊が飛ぶん？」

「プラスチックじゃダメ？」

飛行機は軽いアルミニウム合金でできている！

そんな突っ込みを入れたくなりました（笑）。そしてお決まりの離陸時、

『**ごごごごごー**（離陸音）』

「**うぉーっ**（叫び声）」

「景色きれい～っ」

「動画撮っといて！」

今どきです（笑）。高所恐怖症の人も、これだけ高ければ問題ありません。

機内は結構皆寝てます（笑）

翼よ、あれが北海道だ

北海道はでっかいどー。いやいや、ホンマにでっかいです。そして一面の『**雪！**』。思わず駆け回りたくなるのをガマンしてバスに乗車です。感染対策でバスは1クラスにつき**2台**と贅沢！目指すはルスツです。因みに漢字では『**留寿都**』と書きます。少し格好いいですね（笑）。

予定していた道が雪で閉鎖されたため、バスは急きょ道央自動車道へ。トイレ休憩は『きのこ王国』から『有珠山パーキング』に変更しました。海がバックの雪景色、もうサイコー！

少し遅れて14時、目的のホテルに到着しました。

トイレ休憩、海をバックに

着ホテル 開校式＆集合写真

ホテルに着いた途端に、『スキーウェア着用』『ブーツのサイズ合わせ』を行いゲレンデへ集合、そこで配布されたゼッケンを着けると、気分は

スキー始めるぞ！

まずは開校式！実習班ごとに整列し、学校長挨拶、生徒代表W君の挨拶と続きました。

「コロナの中、この場に立てている事は幸せな事です。」

心からそう思います。そして全体写真を**パシャリ！**

雪降る中の集合写真

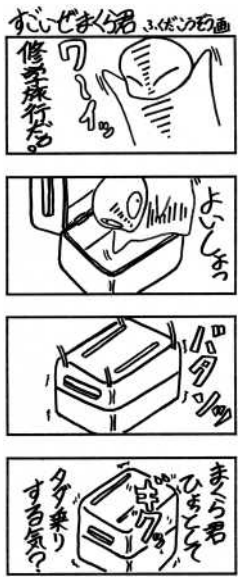
これが伊川谷高45回生 スキー実習だ！

学年全体の写真が終わったら、いよいよスキー実習の始まりです。実習班長が点呼表をインストラクターに渡し、顔合わせが始まります。

本日は初日、それに移動の疲れもあるので本格的な滑走は翌日からとし、この日は『雪に慣れる事』が目的です。積雪上での移動方法や上手な転け方についてを学びました。しっかり身体をほぐして、

いざ出陣！

ボード取りに行って



スキー板履いたよ～

指導受けてます

45回生學年通信号外 修学旅行について

本誌は45回生（ほぼ）週刊情報誌『學年通信』の発行70号を記念して企画された4日連続発行号外です。通常版とは異なり片面仕様ですが、修学旅行の様子を余す事なく記事にしていきます。

本校HPにアップするため、不特定多数の方の閲覧を考慮して、画質は一定レベルまで落としていますが、高画質版はまたあらためまして…。

編集長、頑張ります！

やっぱスゲーゼ ルスツリゾートホテル！

スキー実習が終わったら、ようやく荷物を持って各自部屋に入ります。そこで夕食まで部屋でくつろぎます。

「すっげー、このホテル！」皆が口々に叫ぶのも当然です。何せこのホテルは『北海道を代表するリゾートホテル』です。え？どうスゴいかって？そりゃ、ホテルの館内にメリーゴーランドがあるんだから。早速はしゃいでいる者が居ます。ホンマに～（苦笑っ）

夕食はバイキング。でもアルコール消毒に斜め着席、ビニール手袋など感染対策はバッチリです。やっぱり皆で食べるご飯は

美味しいぜっ！

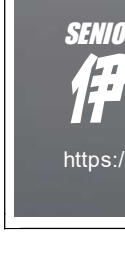
メリーゴーランドをバックに

対策もバッチリ

天性人語45th

新年早々の修学旅行が遂に始まった。コロナ禍において一時は実施も危ぶまれ、なかなか落ち着かない日々を過ごしたものである。しかし一旦始まってしまえば、後は楽しむしかないだろう。▼いつもの教室での授業、そこから抜け出して大自然の中に立つと、今までのいろんな事が『ちっぽけな事』に思えるかもしれない。それでいいのだ。▼北海道の自然は本当に美しい。特に冬の雪山は最高の景観である。その地に立つと、今ある生への実感と感謝の気持ちが込み上がってきても不思議ではない。それほどに地球の大自然は偉大なのである。▼話を修学旅行に戻そう。旅行初日、朝早くにも関わらず、本当に多くの先生方が皆の見送りに来て下さった。それはこの修学旅行が第二学年だけでなく伊川谷高校にとっても大切な行事だからである。▼「修学旅行を成功させよう」よく聞かれる言葉せよう。では、『修学旅行の成功』とは一体どういう事なのだろう。それは、『問題行動もなく皆、無事に帰ってくる』などという小さな事ではない。そんな事は『当たり前』の事なのだから。『生への実感』『生きる希望』『これからの目標』他、人によって違いはあれども皆がそれぞれ新しい気付きを得る事ができれば、それが修学旅行の成功なのである。▼三泊四日の短い期間ではあるが、友と寝食を共にする事も大切な思い出となるであろう。さぁ、みんなで出発だ。

（福田）



荷物検査で見つからなかった？（笑）

学年キャッチフレーズ 笑顔・夢

校訓 自主 協同

兵庫県立 伊川谷高等学校 校歌（1番）

作詞 黒部　亨
作曲 岡村　健治

若草の
萌ゆる岡辺に　陽はあふれ
清らな命　育まむ
とこしえに　たゆみなく
道の奥処を　究むるところ
うるわし母校　伊川谷高校